

足立参院議員

インフラ再生を旗印

2期目の政治活動展開

足立敏之参院議員は28日、東京都千代田区の砂防会館で国政セミナーを開いた。7月の参院選で2回目の当選を果たしたことを建設・物流業界の支援者に改めて報告。2期目は、これまで唱えてきた「建設産業の再生なくして、日本の再生なし」に加え、インフラ再生を旗印に掲げて政治活動を展開する考えを示した。写真。



足立議員は、高速道路や港湾、空港を例に挙げて「日本のインフラはアジアの諸国に比べると目を覆うばかりの状態になっている」と指摘し、「このままではいけない。なんとか、諸外国並みに引き上げていかなければ」と危機感をあらわにした。

さらに、「日本のGDP（国内総生産）は30年間、まったく伸びていない。だから賃金も上がらない」と述べた上で、「日本のインフラをしっかりと立て直すことが、経済の発展につながる」と強調。こうした考えの下、「今度は『インフラの再生なくして、日本の

再生なし』を併せて唱えていく」と力を込め、インフラ再生の必要性を国会で訴えて政策にする姿勢を示した。

セミナーには、足立議員が自民党内で所属する宏池会の会長を務める岸田文雄首相がビデオメッセージを寄せたほか、建設業界から出席した運輸賢治日本建設業連合会副会長があいさつした。林芳正外務相、遠藤利明自民党総務会長、谷公一国土強靱化担当相からも駆け付け、足立議員にエールを送った。